

平成28年度事業報告

平成20年をピークに総人口が減少し、今後労働力人口の低下が危惧されるなかでも、成長を着実に実現していくためには年齢に関わりなく働く意欲のある高齢者が能力や経験を活かすことのできるシルバー人材センターの役割が一層重要なものになっています。「生涯現役社会の担い手」として、センターの機能を更に拡充するために、平成28年度において、以下の施策体系を掲げ積極的に推進致しました。

1. シルバー人材センター事業（公益目的事業）

（1）安全で適正な就業の推進

安全就業に対する意識の高揚を維持し事故の撲滅と受注及び適正な就業を推進しました。

- ①安全対策基本計画の策定
- ②安全・適正就業推進員の配置
- ③巡回パトロールの実施
- ④適正就業点検の実施
- ⑤安全教育の推進
 - ・講習会の開催（草刈機・高齢者交通安全・事故者）
- ⑥意識啓発活動の推進
 - ・安全だよりの発行（事故事例の周知及び熱中症、食中毒、風邪予防等）
 - ・安全冊子（安全・適正就業のために）の配布
 - ・安全スローガンの募集
- ⑦会員の健康管理
 - ・健康診断の奨励（阿南市開催の健診の周知等）
 - ・健康状況申告（問診）の実施

（2）就業開拓活動の推進

高齢者が地域で就業できる場や地域社会を支える活動ができる場の拡大を図るため、地域に応じた就業機会の確保及び新たな職域の創出に積極的に取り組みました。

- ①就業開拓推進員を配置し、事務系職種、家事援助、育児支援等女性会員の職種の拡大や事業所等での人手不足分野（早朝、夜間及び休日業務等）を中心に開拓活動を実施しました。
- ②普及啓発促進月間（10月）を設置し、PR活動を強化しました。
- ③あなん健康まつり等イベントでのリーフレットの配布や、新聞折込みを実施し、個人・家庭からの受注の拡大を図りました。

(3) 普及啓発活動の推進

シルバー人材センター事業への理解と協力を更に広めていくためPR活動を積極的に推進しました。また、事業の情報を常に会員と共有することにより、事業への参加の意識の向上を図りました。

- ①役職員、地域班長を中心に事業所や個人宅の訪問活動を実施。
- ②広報誌等（広報あなん、ニュー阿南）への掲載
- ③理事会での決定事項、各委員会の活動状況、安全・適正就業に関すること等を詳細に伝えるため、会報や各種会合の資料の充実に努めました。

(4) 組織の活性化

会員による自主的な組織運営を更に推進していくため地域班、剪定等技能職に携わる会員による就業開拓やボランティア等の会員活動を積極的に推進すると共に会員の増強に努め、組織全体の活性化を図りました。

- ①地域班及び職域班による就業開拓、入会促進等のPR活動の実施
- ②ボランティア活動の実施
 - ・剪定 老人ホーム福寿荘、神崎幼稚園
 - ・清掃 淡島海岸
 - ・草刈及び障子の張替 那賀川社会福祉会館
- ③入会説明会の周知をあらゆる機会に実施、特に、平成23年度以降減少傾向にある女性会員の増強を積極的に推進しました。

(5) 一般労働者派遣事業の推進

適正就業の観点から請負・委任に馴染まない受注について、派遣に切替えるための訪問活動や新規契約のPR、ハローワークとの連携を強化し受注の拡大を図ると共に入会説明会での会員への説明を積極的に推進しました。

(6) 有料職業紹介事業の推進

職業紹介担当者会議に参加する等統括管理を行う連合会と連携しながら事業の周知及び推進に努めました。

(7) シニアワークプログラム（SP）地域事業の推進

新聞、広報誌等を通じて事業の周知を図ると共に講習会修了者の人材のPR及び就業開拓活動を実施しました。

(8) 農業みらいづくり事業の推進

企画提案事業から独自事業として再スタートし、市内の低利用農地（休耕田）の整備と会員の社会参加及び就業機会拡大のため、モチ米の作付け、生産、販売を実施しました。

(9) 設立30周年記念事業の実施

- ① 11月26日(土)に記念式典及びタレント・作家の遙洋子さんによる記念講演を開催し、来賓、会員(家族含む)及び地域への感謝、普及啓発のため公募した一般の方々を合わせ545名の出席がありました。
- ② 記念誌を作成し、関係各所に配布すると共に関連事業としてボランティア活動の実施及び事業PR用リーフレットをイベント等あらゆる機会に配布しました。

(10) その他

① 県連合会事業への参加

公益社団法人徳島県シルバー人材センター連合会が行う各種事業に積極的に参加しました。

② 全シ協・四シ協事業への参加

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会、四国ブロックシルバー人材センター協議会が行う各種事業に積極的に参加しました。

2. 法人管理事業

(1) 諸会議の開催

センターの維持運営及び事業運営の執行に関して必要な会議(定時総会1回、理事会6回)を開催しました。

(2) センター事務局機能の充実

日常業務の円滑かつ効率的な事務執行のため、会計担当者会議等連合会の研修会に参加し必要な知識能力を付与するなど事務局機能の充実に努めました。

(3) 役職員研修会の実施

四国ブロック主催の「役職員研修会」に参加し、シルバー人材センター事業の現状と課題について研修しました。

事業報告の附属明細書

平成28年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

平成29年5月26日
公益社団法人阿南市シルバー人材センター
理事長 田上敏幸